

2022年7月期（2022年1月11日～2022年7月10日）決算短信

2022年8月24日

ファンド名 ダイワ上場投信－MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 上場取引所 東証
 コード番号 1653
 連動対象指標 MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
 主要投資資産 株式、投資証券
 売買単位 10口
 管理会社 大和アセットマネジメント株式会社 URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小松 幹太
 問合せ先責任者 (役職名)ラップ・ETFビジネス部 (氏名)長尾 健司 TEL (03)5555-3478

有価証券報告書提出予定日 2022年10月 3日
 分配金支払開始日 2022年 8月18日

I ファンドの運用状況

1. 2022年7月期の運用状況（2022年1月11日～2022年7月10日）

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年 7月期	20,084	(99.7)	68	(0.3)	20,153	(100.0)
2022年 1月期	23,615	(99.6)	93	(0.4)	23,709	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
2022年 7月期	9,138	629	1,427	8,340
2022年 1月期	3,526	5,904	293	9,138

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×10
	百万円	百万円	百万円	円
2022年 7月期	20,443	290	20,153	24,164.5
2022年 1月期	23,910	201	23,709	25,945.4

(4) 分配金

	10口当たり分配金
	円
2022年 7月期	313
2022年 1月期	198

(注) 分配金は売買単位当たりの金額

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

	第9期	第10期
	2022年1月10日現在	2022年7月10日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	267,619,886	316,499,627
株式 ※2	23,226,686,190	19,750,007,150
投資証券	388,971,400	334,648,600
派生商品評価勘定	462,280	98,350
未収入金	958,780	—
未収配当金	23,475,328	25,840,390
前払金	—	11,325,500
差入委託証拠金	2,188,500	5,505,000
流動資産合計	23,910,362,364	20,443,924,617
資産合計	23,910,362,364	20,443,924,617
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	—	1,357,460
前受金	1,530,000	—
未払金	—	9,077,530
未払収益分配金	180,933,687	261,044,597
未払受託者報酬	3,450,045	3,493,538
未払委託者報酬	13,800,295	13,974,248
未払利息	441	512
その他未払費用	1,608,264	1,592,795
流動負債合計	201,322,732	290,540,680
負債合計	201,322,732	290,540,680
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	17,947,159,660	16,379,923,012
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	5,761,879,972	3,773,460,925
(分配準備積立金)	384,787	71,696
元本等合計	23,709,039,632	20,153,383,937
純資産合計	23,709,039,632	20,153,383,937
負債純資産合計	23,910,362,364	20,443,924,617

(2) 【損益及び剰余金計算書】

	第9期	第10期
	自 2021年7月11日 至 2022年1月10日	自 2022年1月11日 至 2022年7月10日
	金額 (円)	金額 (円)
営業収益		
受取配当金	200,922,562	280,775,810
受取利息	1,012	1,040
有価証券売買等損益	1,275,350,171	△1,443,012,657
派生商品取引等損益	1,630,142	△13,057,400
その他収益	31,537	75,057
営業収益合計	1,477,935,424	△1,175,218,150
営業費用		
支払利息	26,046	22,526
受託者報酬	3,450,045	3,493,538
委託者報酬	13,800,295	13,974,248
その他費用	2,539,589	2,630,089
営業費用合計	19,815,975	20,120,401
営業利益又は営業損失 (△)	1,458,119,449	△1,195,338,551
経常利益又は経常損失 (△)	1,458,119,449	△1,195,338,551
当期純利益又は当期純損失 (△)	1,458,119,449	△1,195,338,551
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	1,611,580,630	5,761,879,972
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,037,332,288	299,894,583
当期追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	3,037,332,288	299,894,583
剰余金減少額又は欠損金増加額	164,218,708	831,930,482
当期一部交換に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	164,218,708	831,930,482
分配金 ※1	180,933,687	261,044,597
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	5,761,879,972	3,773,460,925

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第10期	
	自 2022年1月11日	至 2022年7月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2) 投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>	
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>	
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第9期	第10期
	2022年1月10日現在	2022年7月10日現在
1. ※1 期首元本額	6,926,798,212 円	17,947,159,660 円
期中追加設定元本額	11,597,105,760 円	1,235,925,560 円
期中一部交換元本額	576,744,312 円	2,803,162,208 円
2. 計算期間末日における受益権	9,138,065 口	8,340,083 口

ダイワ上場投信－MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数 (1653) 2022 年 7 月期決算短信の総数

3. ※2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 株式 12,450,000 円	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 株式 12,192,000 円
---------------------	---	---

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	第 9 期	第 10 期
	自 2021 年 7 月 11 日 至 2022 年 1 月 10 日	自 2022 年 1 月 11 日 至 2022 年 7 月 10 日
※1 分配金の計算過程	当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当等収益額 (200,929,065 円) 及び分配準備積立金 (179,338 円) の合計額から、経費 (19,789,929 円) を控除して計算される分配対象額は 181,318,474 円 (100 口当たり 1,984 円) であり、うち 180,933,687 円 (100 口当たり 1,980 円) を分配金額としております。	当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当等収益額 (280,829,381 円) 及び分配準備積立金 (384,787 円) の合計額から、経費 (20,097,875 円) を控除して計算される分配対象額は 261,116,293 円 (100 口当たり 3,130 円) であり、うち 261,044,597 円 (100 口当たり 3,130 円) を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

I 金融商品の状況に関する事項

区 分	第 10 期 自 2022 年 1 月 11 日 至 2022 年 7 月 10 日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第 2 条第 4 項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク (価格変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所 (外国の取引所) における株価指数先物取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることも

	<p>あります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>
--	---

II 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第10期 2022年7月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	第9期 2022年1月10日現在	第10期 2022年7月10日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額 (円)
株式	1,287,026,597	△1,227,242,637
投資証券	△28,812,150	△8,671,162
合計	1,258,214,447	△1,235,913,799

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	第9期 2022年1月10日 現在				第10期 2022年7月10日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引								
株価指数 先物取引								
買 建	93,002,000	—	93,470,000	468,000	71,180,100	—	69,925,500	△1,254,600
合計	93,002,000	—	93,470,000	468,000	71,180,100	—	69,925,500	△1,254,600

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

第10期 自 2022年1月11日 至 2022年7月10日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第9期 2022年1月10日現在	第10期 2022年7月10日現在
1口当たり純資産額	2,594.54円	2,416.45円
(100口当たり純資産額)	(259,454円)	(241,645円)